

4/59  
 逓 達 局 郵 政 省 郵 政 司 官 宛  
 逓 達 局 郵 政 省 郵 政 司 官 宛

逓 達 局 郵 政 省 郵 政 司 官 宛

(荒木貞夫実外ノ被害ニ關シ米國及其  
 外ノ諸國ニ提問セシ候通達)

私 (清水行之助) ハ以下口候義シマスコトガ事實  
 相違ナキコトヲ私ノ良心ニ於テ義ニホリト義シマ  
 ス。

千九百十九年 (大正八年) 頃私が上海ニ居リマシ  
 タ頃北一輝ト知り合ヒニナリマシタ。私ハ前通ノ  
 北一輝ト同ジ船デ上海カラ歸リマシタガ、東京ス  
 ルヤ前通ノ北ハ私ヲ大川周明博士ニ紹介シマシタ。  
 北ハ通達ヲ國家主義諸國體ヲ推進スル仕事ヲ大川  
 ト一語ニヤツテキタノデス。若イ時分ノ事デハア  
 リ、私ハコノ國家主義諸國體ノ人道ト關係ヲ持テマ  
 シタガ、ドテラカト云ヘバアマリ重要デハナイ義  
 差テ参加シタノデス。

千九百三十一年 (昭和六年) 三月マデノ期間ニ於  
 キマシテ前通大川博士ト私ハ金田亭ヘ行ク事ニシ  
 テ居マシタ、其處デ前通大川博士ヘ多クノ陸軍將  
 校ト時々會見シアキマシタ其中心ニハ陸軍參謀總長  
 本庄五郎ガ居リマシタ。此間、大川博士ガ私ニ申シ  
 マシタ處ニヨルト、前通本庄五郎大佐ヲ含シタ

陸軍將校連が日本政府ヲ革新スル目的ヲ革命ヲ企  
 圖シテキルトノコトデシタ。此目的ノ爲メニ私ハ  
 砲二千口ノ金ヲ大川博士ニ寄贈シマシタ。私ノ意  
 圖ハ大川一隊ガ示威運動中陸軍部ノ外へ暴露ヲ授  
 ケツケルコトデシタ。前述ノ大川博士ハ將來ヲ陸  
 軍内ニ進レ込ミ政府ヲ乗取ルコトヲ計圖サレテキ  
 マシタ。前記大川博士ガ申シマスニハ、前本大佐  
 ガ陸軍カラ退陣ヲ入手シ之ヲ私ノ家マテ届ケル手  
 管ニナツテキマシタ。前記前本大佐ガ是等暴露ヲ  
 入手スル皆前記大川博士カラ聞キマシタ。當ラク  
 シテ約三百口ノ暴露ガ私ノ家へ届ケラレマシテ私  
 ハ是等ヲ隠シマシタ。コノ陰謀ニ關係シテ居ツタ  
 陸軍ガ手ヲ引イタカラ此計畫ハ失敗ニ歸シテシマ  
 ツタト前述ノ大川博士ガ後日私ニ申シマシタ。茲ニ  
 於テ計畫ノ失敗シタ理由ヲ述べルタメニ前述ノ大  
 川博士ト私トハ陸軍省ニ陸軍大臣寺内一成大將ヲ  
 訪ネマシタ、大川博士ガ洩ラシタ處デハ、寺内大  
 將ハ此計画ニ参加シテキタトノコトデス。前述ノ  
 寺内大將ヲ陸軍省ニ訪レタ際、彼ハ口守ダト聞キ  
 マシタ。ソシテ暴露スルニ當テ陸軍々務局長小磯  
 田島將軍ガ自動車ヲ乗シテ來タノニ出合ヒマシ  
 タ。前記大川博士ハ前記小磯將軍ニ對シ陸軍將校  
 連ノ計畫進行ノ失敗ヲ述リマシタ、コレニ對シテ、

小磯將軍ハ答ヘマシタ。

「此計劃放棄ハ陸軍カラノ直接命令デアリマス。」  
ソコデ計劃ハ一時中止トナリ、其後、侯爵徳川義親ノ要請ニヨツテ前述小磯將軍ノ副官デアル参謀本部ノ根本弘（？）大佐ニ件ノ爆彈ヲ返却致シマシタ。

前記ノ三月事件計劃ノ失敗後モ折々前述ノ大川博士ト金龍亭デ會ツテキマシタ。八月ノ或ル折デアリマシタガ、大川博士ハ銘町シテヲツテ、私ニ申シマスノニ、ヤガテ博士ト高木（？）大佐ト云フ大佐、憲兵隊ノ甘粕ト云フ大佐ヤ、關東軍参謀次長板垣大佐ナドガ一語ニナツテ奉天ニ或ル事件ヲ惹起セシメルダラウト申シマシタ。

九月一日ニ滿洲事變ノ發生後、私ハ遂行サレテ獄中ニ三ヶ月ヲ過シマシタ。千九百三十二年（昭和七年）十二月ニ獄ヲ出テカラ獄中ニ亙リ前述ノ大川博士ト會見シマシタ。コノ期間彼ハ神武會ノ組織ニ多忙デシタ。神武會ハ極端ナ國家主義ノ右翼團體デアリマシテ、其目的ハ完結スルト、亞細亞カラ白人ヲ放逐シ、日本指導ノ下ニ亞細亞人ノ解放ヲシ以テ日本政府ノ革新ヲ招来スルト云フノデアリマス。千九百三十二年（昭和七年）三月ノ或日ノ會合デ前述大川博士ガ申シマス處ニヨレバ、博士ハ橋幸三郎ト云フ人ト一語ニヤル陰謀ニ關係

シテキル。爾ハ當時ノ日本政府ノ弱點ニ不滿ヲ以  
ツテキル海軍ノ青年士官連ヤ農民黨ノ指導者タト  
云フコトデシタ。私ハ前述大川博士ニ新様ナ舉ハ  
異論ニ反スルシ成功モスマイ。又今後彼ト共ニ新  
様ナ計劃ニハ參加出来ナイ旨ヲ申シマシタ。

壽 永 行 之 助

島 名